

(様式3)

平成29年度自己評価表

学校名 湯梨浜町立泊小学校

校長名 倉長 孝男 印

1. 学校の教育目標

豊かな心と確かな学力を持ち、ふるさとを誇りに思い、未来を切り拓き、たくましく生きる児童の育成

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

(1) わかる授業の創造と確かな学力の育成

- 学習のきまりを共通理解し、学習規律の確立に取り組む。
- 単元づくりや学習過程を創意工夫し、授業改善に取り組み、言語活動の充実を図る。
- ペア学習やグループ学習や情報機器の効果的な活用方法を工夫する。
- 校内授業研究会を充実し、授業力の向上を図る。
- 少人数指導を生かし、個に応じた学習指導を進め、基礎学力の定着を図る。
- 外国語活動を推進し、外国語への興味・関心を高める指導に取り組む。
- 家庭学習の手引きを活用し、家庭学習の習慣化を図る。
- 図書館の活用を推進するとともに、読書の習慣化を図る。

(2) 潮風の中でたくましく生きる心と体の育成

- 基本的な生活習慣の大切さについて教育活動全般を通して適宜指導する。
- 道徳教育、人権教育、特別支援教育を推進し、思いやり豊かな心を育成する。
- より良い言葉使いのあり方については重点的に指導する。
- 潮風タイム（業間運動）を活用し、目標を持ちながら体力の向上に取り組む。
- 食育を推進し、健康な体づくりに関心をもたせる。

(3) ふるさとを誇りに思う児童の育成と開かれた学校づくり

- 総合的な学習の時間を活用し、体験的な学習活動を積極的に取り入れる。
- 地域の施設や外部人材を活用し、特色のある教育活動とふるさと教育を推進する。
- 学校だより、学級だよりを創意工夫し、積極的に情報を発信する。
- ホームページを活用し、旬な情報を発信する。

3. 年度当初の評価項目

評価項目	現状	めざす姿	具体的方策	評価方法
○わかる授業の創造と確かな学力の育成	・校内授業研究会を計画的に行い、授業研究を進めたことで、授業力の改善が見られつつある。 ・基礎的、基本的な学習内容が定着している児童もいるが、理解が不十分な児童もいる。 ・自分の考えを進んで発表しようとする児童もいるが、意欲的でない児童もいる。 ・自分の考えを相手に伝え合い、お互いが考えを深めようとする学習を苦手としている児童がいる。 ・外国語活動に意欲的な児童もいるが、会話を苦手としている児童が多い。 ・家庭での学習時間が短く、習慣化ができていない児童がいる。 ・図書館を活用した授業や情報機器を活用した授業展開がまだ不十分である。	・校内授業研究会が充実し、授業力を高めることができる。進んで自己研鑽に努めている。 ・基礎的、基本的な学習内容を理解し、意欲的に学習に取り組むことができる。 ・自分の考えを進んで発表し、わかりやすく伝え、考えを深めることができる。 ・授業の中で自分の考えを伝え合い、みがき合い、わかる喜びを感じることができる。 ・外国語活動に興味・関心を持ち、進んで会話を楽しむことができる。 ・家庭学習や読書の習慣を身につけ、自ら学ぶ力を高めることができる。 ・図書館を活用した授業が行われ、また、情報機器を活用した授業展開が工夫されている。	・校内授業研究会をより充実させて、個々の授業力の向上をめざす。 ・県内、県外の研究会に積極的に参加し研修を深めるとともに、教職員に還元する。 ・学習のきまりを共通理解し、学習規律を確立する。 ・少人数指導を生かし、個に応じた学習指導を進め、基礎学力の定着を図る。 ・授業改善に取り組み、言語活動の充実を図る。 ・ペア学習やグループ学習や情報機器の効果的な活用方法を工夫する。 ・外国語活動の時間を増やし、外国語を話す力の向上を図る。 ・家庭学習の手引きを活用するとともに、家庭学習ががんばり週間を定期的に設定し、取り組む。 ・図書館の活用を積極的に行うとともに、児童の読書の習慣化を図る。	・日々の学習指導と観察 ・児童の学習自己評価 ・学習アンケート ・学校一斉公開アンケート ・保護者アンケート ・学校関係者評価結果 ・教職員による教育反省 ・校内授業研究会の取り組み状況 ・N R T等の学力検査結果 ・家庭学習と読書の取り組み状況 ・図書館や情報機器を活用した授業の実施状況

○潮風の中でたくましく生きる心と体の育成	・基本的な生活習慣が身についた児童もいるが、定着しない児童が多い。 ・言葉づかいが悪く思いやりのない言動が目立ち、より良い人間関係が築けない児童がいる。 ・具体的な目標を持って自分の体力を向上させようと意識して取り組む児童が少ない。 ・食の大切さは理解しているが、食育について関心のある児童が少ない。	・元気なあいさつができ、聞こえる声ではっきりと返事ができ、時間を守るなどの基本的な生活習慣が身についている。 ・言葉づかいに気をつけて、思いやりのある言動を行い、学級の仲間とより良い人間関係を築くことができる。 ・具体的な目標を持って体力の向上をめざして取り組むことができる。 ・食育に関心を持ち、健康な体づくりに取り組むことができる。	・基本的な生活習慣の大切さについては、あらゆる場面で捉えて適宜指導する。 ・道徳教育、人権教育、特別支援教育を推進し、自他を大切にし、思いやり豊かな心を育成する。 ・良好な人間関係を築くために欠かせない言葉づかいの指導については重点的に指導する。 ・潮風タイム（業間運動）を活用し、自己目標を持ちながら体力の向上に取り組ませる。 ・食育を推進し、健康な体づくりに関心を持たせる。	・日々の生活指導と観察 ・くらしのアンケート ・hyper-Q Uの結果 ・道徳教育、人権教育、特別支援教育の取組状況の振り返り ・学校一斉公開アンケート ・保護者アンケート ・学校関係者評価結果 ・教職員による教育反省 ・新体力テストの結果 ・家庭学習の取り組み状況 ・食育の推進状況の振り返り
○ふるさとを誇りに思う児童の育成と開かれた学校づくり	・ふるさとを誇りに思う児童もいるが、ふるさとの良さや伝統文化に関心のない児童もいる。 ・学校だより、学級だより、ホームページを活用し、学校の様子や情報を積極的に発信している。	・ふるさとと泊小学校の教育環境の素晴らしさに気づき、誇りに思い、母校を愛することができる。 ・学校だより、学級だより、ホームページを創意工夫し、保護者や地域に積極的に情報を発信している。	・総合的な学習の時間を活用し、体験的な学習活動を積極的に取り入れる。 ・地域の施設や外部人材を活用し、特色のある教育活動とふるさと教育を推進する。 ・学校だより、学級だよりを創意工夫し、積極的に情報を発信する。 ・ホームページを活用し、旬な情報を発信する。	・総合的な学習や体験活動の取り組み状況の振り返り ・学校一斉公開アンケート ・保護者アンケート ・学校関係者評価結果 ・学校だより、学級だよりの発行状況 ・ホームページのアクセス状況